

働く者の団結で、雇用・生活・権利・平和を守ろう！

第32回全国総会を開催！

11月2日、自教労協第32回全国総会（第49回自教全国交流集会）を開催した。新型コロナウイルス感染症の拡大によりweb方式での開催となった。慣れないweb方式と言うこともあり参加者は13道府県35人にとどまったが、活発な意見交換を行い、今後の闘いの決意をつくりだす総会となった。

総会は、勝田幹事の開会あいさつで始まり、総会議長に高波さん（石川）が選出された。主催者あいさつとして河田議長から、新型コロナウイルス情勢下で教習生が急増し長時間労働になっている職場、他方で業績の落ち込みに直面する職場など、多くの課題を解決するために奮闘することがよびかけられた。

連帯あいさつとして、全国一般評議会の亀崎事務局長から、学術会議の任命拒否問題など菅政権の危険な政策に反対することが提起された。また新型コロナウイルスを理由として、厳しい一時金・春闘が予想されるが、厳しい時こそ労働組合の出番である、ともにがんばろうとのよびかけがあった。

新型コロナウイルス情勢下での政府・経営者からの攻撃をはねかえそう！

さらに基調報告・賃金労働条件調査報告が種井事務局長から行われた。集約された2020春闘結果は3,216円となり、昨年比+410円ではあったが、全国一般平均や連合本部99人以下平均に及ばず、自教労働者の厳しい現実が明らかとなった。また本年は新型コロナウイルスをめぐる調査も行った。休業を余儀なくされた職場の多くでは休業手当として所定内賃金100%を確保してきた。昨年実績に基づき残業代相当分を確保した仲間もいる。しかし他方で法定最低限度の休業手当



60%にとどまる職場も出ている。また夏季一時金の大幅抑え込みや団交の延期など、4割の職場が春闘・一時金に対する悪影響を感じていることも明らかとなった。

新型コロナによる様々な影響をあらかじめ仕方がないものとせず、感染拡大の情勢下で、経営者（団体）が今なにを私たち労働者に行おうとしているのかを分析し、賃金労働条件や権利を維持向上させるたたかいに粘り強く取り組むことが提起された。

つづいて会計報告（須浪事務局次長）、会計監査報告（田原会計監査）が行われ、いずれもが採択・承認された。

勝英グループによる組合つぶし反対！—長野・信州ジャパン分会



その後、組合つぶし、不当配転を許さずたたかっている信州ジャパンユニオン分会（長野）の高橋さんから争議報告が行われた。現在、県労働委員会での不当労働行為を認める命令を会社が受け入れなかったことで中央労働委員会に取り組み、そして裁判闘争にも入っている。高橋さんは、現在もつづく遠隔地への不当配転に屈することなく、最後までたたかいぬくことを表明した。勝英グループによる組合破壊、活動家つぶしを許さず、信州ジャパン分会の仲間とともにたたかうのでなければならない。

全国各地の報告を受け活発に討論、新役員体制を確立

その後、参加各地方の報告、意見交換を行った。民間一部大手での評価制度の強化により春闘はますます難しくなるが頑張る。教習生の急増を前に長時間労働を強要してくる経営者。業績不振を理由とする一時金抑え込みの会社提案と反撃の闘い。新型コロナ対策に関する情報交換。定年延長の報告…意見は尽きないまま閉会を迎えた。

春闘・一時金闘争、組合の強化拡大など諸課題の実現に向け、ともにがんばろう！

2021～22年度 自教労協幹事会

役職	氏名	所属・出身
議長	河田 貴宏	北海道自校労協／帯広第一自校労組
事務局長	種井 一平	全国一般評議会事務局次長／石川地方労組書記局
事務局次長	勝田 裕之	九州ブロック自教労協／福岡・東福岡自校分会
幹事	田原 寛之	中国・岡山地方労組書記局
幹事	亀崎 安弘	全国一般評議会事務局長